

・大滝ダム貯水池斜面の現況等

事 項

要 点

備 考

1. プロジェクト概要

大滝ダムは、昭和34年9月の15号台風（伊勢湾台風）をもとに策定された紀の川水系工事実施基本計画の治水計画で必要とされたダムである。また、利水面においても、和歌山市をはじめとする流域沿川都市および大和盆地の人口の著しい増加と経済活動の拡大に伴う水需要の増加により、新しい水源が必要となってきた。そこで、当ダムは水系一貫とした治水水利計画の一翼を担う多目的ダムとして計画された。大滝ダム諸元を表 .1.1、図 .1.1、図 .1.2 に示す。

表 .1.1 大滝ダム諸元

河 川 名	紀の川水系紀の川	
位 置	奈良県吉野郡川上村大滝	
流 域 面 積	258km <sup>2</sup>	
総 貯 水 量	84,000,000m <sup>3</sup>	
堤 体 諸 元	形 式	重力式コンクリートダム
	堤 高	100m
	堤 頂 長	315m
	堤 頂 幅	12m
	堤 体 積	約 1,030,000m <sup>3</sup>
基 礎 地 盤 諸 元	基礎地盤標高	EL 226.00m
	ダム天端標高	EL 326.00m

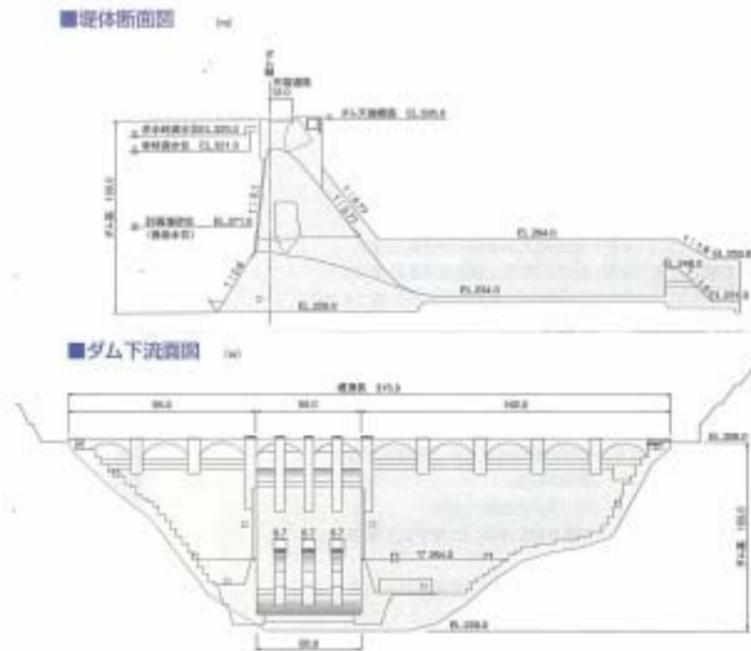


図 .1.1 ダム堤体

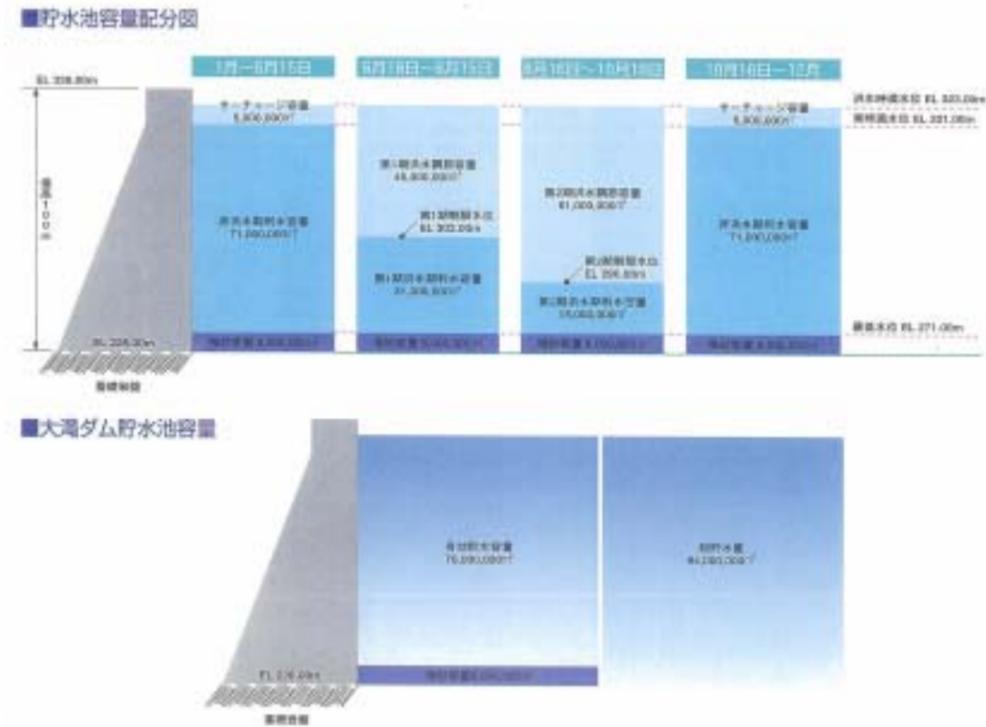


図 .1.2 ダム貯水池容量および容量配分